



*ブライアンズタイム Brian's Time 黒鹿 1985	ロベルト Roberto 鹿 1969	Hail to Reason	Turn-to
		Nothridchance	
		Bramalea	Nashua
			Rarelea
メス・黒鹿毛 2009年 1月11日	ケリーズ デイ Kelley's Day 鹿 1977	Graustark	Ribot
		Flower Bowl	
		Hasty Road	
		Sunny Vale	
スペリオルパール 鹿 1998	*ティンバーカントリー Timber Country 栗 1992	Woodman	Mr. Prospector
		*ブレイメイト	
		Pretense	
		Change Water	
	*パシフィカス Pacifcus 鹿 1981	Nearctic	
		Natalma	
		Damascus	
		Fiji(13)	

ポイント

POINT

一時代を築いたこのファミリーにとって父との配合はまさに定石と言えます。頑丈な骨格にしっかりとした腹袋、独特の強い弾力感を有する筋肉など、幾多の重賞勝ち馬を送り出した父の産駒らしい特長を備えており、その凛々しい顔立ちにはすでに一流馬としての風格すら漂います。走ることが大好きな気質で、自らトレーニングに励むかのようにタフに動き回る様子には底知れぬ可能性を感じます。全兄と同様に芝の中距離適性の高さは折り紙つきで、より恵まれた体躯を授かった本馬なら牡馬と渡り合うこともできそうで、この母系図のブラックタイプに自らの名を刻む活躍を期待します。

母系

FAMILY

母の父 *ティンバーカントリー Timber Country は米国産、米2歳牡馬チャンピオン、米5勝、BCジュベナイル-G1、ブリークネスS-G1。主な産駒：パレット(フリゼットS-G1)、イレメイン(AJCダービー-G1)、アドマイヤドン(JBCクラシック-JPN1)。【BMS:主な産駒】シンメイフジ(新潟2歳S-JPN3)、プレザント デイ(ホーリス ヒルS-G3 2着)

母 スペリオルパールは不出走。産駒

タガノボーディング(牡 鹿 *ブライアンズタイム) 3勝、摂津特別

祖母 *パシフィカスPacifcusは米国産、英2勝。産駒

ビワハヤヒデ: 年度代表馬、最優秀3歳・古牡馬、10勝、天皇賞(春)-JPN1、菊花賞-JPN1、宝塚記念-JPN1、京都記念-JPN2、神戸新聞杯-JPN2、デイリー杯3歳S-JPN2、オールカマー-JPN3、若葉S-OP、もみじS-OP、ダービー-JPN1 2着、皐月賞-JPN1 2着、有馬記念-JPN1 2着、朝日杯3歳S-JPN1 2着、共同通信杯4歳S-JPN3 2着、天皇賞(秋)-JPN1 5着。種牡馬

ナリタブライアン: 年度代表馬、最優秀2歳牡馬、最優秀3歳牡馬、12勝、ダービー-JPN1、皐月賞-JPN1、菊花賞-JPN1、有馬記念-JPN1、同4着、朝日杯3歳S-JPN1、阪神大賞典-JPN2(2回)、スプリングS-JPN2、共同通信杯4歳S-JPN3、京都3歳S-OP、きんもくせい特別、天皇賞(春)-JPN1 2着、京都新聞杯-JPN2 2着、デイリー杯3歳S-JPN2 3着、高松宮杯-JPN1 4着。種牡馬

ビワタケヒデ: 3勝、ラジオたんぱ賞-JPN3、かきつばた賞、小倉記念-JPN3 3着、若葉S-OP 3着。種牡馬

ビワビーナス: 3勝、大倉山特別、富良野特別

ビワカレン: 3戦、入着。産駒

シルクチャンピオン: 3勝、白百合S

ラクス アクラLuks Akura: 英3勝、英障2勝

タヒチアンTahitian: 英3勝

曾祖母 パシフィック プリンセスPacific Princessは米7勝、デラウェアオークス-G1、ヘンブステッドH-G2、メイトロンS-G1 2着。産駒

*キャットクイルCatequil: 英入着。**ファレノブシス**(最優秀3歳・古牡馬、桜花賞-JPN1、エリザベス女王杯-JPN1)、**サンデーブレイク** Sunday Break(ピーター パンS-G2)の母